



神戸国際大学キリスト教センター通信
2023年4月11日 第85号

入学おめでとうございます

チャブレン トマス 河村博之

「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。あなたがたは出かけて行って実を結び、その実が残るようにと、また、わたしの名によって父に願うものは何でも与えられるようにと、わたしがあなたがたを任命したのである。」

(ヨハネによる福音書第15章16節)

新入生のみなさま、ご入学おめでとうございます。オリエンテーションが始まり、これから大学生として生活を始めるという期待と不安が入り混じっている頃だと思います。冒頭の聖書の言葉は、入学式で読まれた箇所です。

なぜこのことばを選んだかといいますと、今から三十数年前、わたしも本学の入学式で当時の理事長パウロ八代欽一主教(現理事長のお父様)から、式辞としていただいたことばだからです。

「みなさんは、この大学に入学したと思っているかもしれないが、本当は、神様が皆さんにふさわしいと思われて、この大学をお選びになったのだ。」みなさんはどのように受け留められるでしょうか。当時のわたしは「一般入学試験を受けて合格し、期日までに学費を納入したのはこのわたしだ。なぜ、神様がお選びになったのか！」観光学を学びたいため一浪までして、当時西日本の大学で唯一の教育機関であった本学を受験したのです。八代理事長のことばに引っ掛かり(疑問)をもって、大学生生活を始めたことをつい昨日のように覚えています。

それから4年後、希望していた職種ではなくなぜか、神学校へ進み、今チャブレン(大学付牧師)として、皆さんをお迎えする立場になりました。

本学での4年間、何がそうさせたのでしょうか?その答えは、チャペルで養われました。5号館チャペル(キリスト教センター)で、お待ちしております。



(一口メモ) チャペル

大学や病院などに併設される礼拝堂のことです。街中で見かける教会とは異なり、そこで学んだり療養したり、働いたりする人のための祈りの場所です。信仰を強要することはありません。気軽に心のよりどころ、居場所に一つにしていいただければ幸いです。

屋の礼拝 毎週月曜日～金曜日(授業期間中)13:00～13:15

詳しくは5号館キリスト教センターへお尋ねください。

ウクライナのための祈り

正義と平和の神よ、
わたしたちは今日、ウクライナの人々のために祈ります。
またわたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。
明日を恐れるすべての人々に、
あなたの慰めの霊が寄り添ってくださいますように。
平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって、
み旨に適う決断へと導かれますように。
そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な
子どもたちを、あなたが抱き守ってくださいますように。
平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。
アーメン。

ジャスティン・ウェルビー大主教
スティーブン・コットレル大主教



A Prayer for Ukraine

God of peace and justice,
we pray for the people of Ukraine today.
We pray for peace and the laying down of weapons.
We pray for all those who fear for tomorrow,
that your Spirit of comfort would draw near to them.
We pray for those with power over war or peace,
for wisdom, discernment and compassion to guide their decisions.
Above all, we pray for all your precious children, at risk and in fear,
that you would hold and protect them.
We pray in the name of Jesus, the Prince of Peace.
Amen.

Archbishop Justin Welby
Archbishop Stephen Cottrell



ウクライナのための祈り (カード) 日本聖公会東京教区のページへ

禁複製転載 (C) St.Michael's KIU_MTF
神戸国際大学キリスト教センター

